

Advance

SOLAN UNION ついに始動！！

7年生は今週も、とても穏やかで安定した日常を過ごしていました。授業に向かう姿勢や友達との関わりにも落ち着きがあり、「中等部での生活がしっかりと根付いてきているな」と日々感じています。

今週、特に大きな拍手を送りたいのは、「SOLAN UNION（児童・生徒会）」のスタートです！

初めての本格的な活動となった「1年生を迎える会」では、7年生が中心となって企画・運営を行い、SOLANらしいあたたかさや優しさで1年生を迎えました。堂々と役割を果たす姿、下級生たちへの細やかな気配りには、私たちスタッフも本当に感動しました。

また、同時に本格始動した委員会活動でも、7年生のリーダーシップが随所に光っていました。

「自分たちの手で、より良い学校を創っていこう」そんな思いが、行動にも言葉にもしっかりと表れていて、まさにSOLAN Unionらしい素敵なスタートだったと思います。

このようなひとつひとつの姿が、SOLANの文化をつくり、下級生たちへと受け継がれていくのです。

7年生18人全員のがんばりと成長を、心から誇りに思います！今回は、2つの道のどちらを選ぶのか...というお話を紹介します。

#今、どちらを選ぶ？

今、あなたの目の前に2つの道があります。
左は、レッドカーペットがしかれた、楽しそうな道。
右は、イバラの道（トゲトゲがはえた道）。
あなたは当然、左のレッドカーペットの道を歩きたいですよね？

でも、次の情報を得たら、どうでしょう？
左の道は1キロ、レッドカーペットが続いた後で、
その後の99キロはイバラの道が続くんです。
いっぽうの右の道は、最初の1キロはイバラの道だけど、
その後の99キロは、楽しいレッドカーペットの道が続きます。
それならあなたは「やっぱり右の道にしようかな」って
考え直すんじゃないでしょうか。

でも、現実には、みんな左の道を選んじゃうんです。
最初が楽しそうな道を、ね。なぜかって？

だって、目の前に1キロもレッドカーペットがあったら、
その先なんて、見えないじゃない？
1キロから先は、イバラの道になっているなんて、
神様の視点じゃないと見えないわけです。
真上から、つまり俯瞰から見て初めて、合理的な判断ができるわけなんです。

じゃあ、どうやったら俯瞰して見られるのでしょうか？
実は、かんたんな方法があります。
それは、“イケてる大人”に聞いてみることです。
「今、どっちの道を歩んだら、1キロより後が、楽しい道なのか？」。
だいたい「今、周りのみんな（友達）がやっていること＝左の道」が
不正解なんですよ。
それは「イケてない大人がやってきたこと」でもあります。

参考：「バクノビ」坪田信貴：著（KADOKAWA）

なるほど...と、思わず考えさせられるお話ですよ。さて、もうひとつ。今度は、のび太くんのパパ、のび助さんの言葉を紹介します。

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Advance

自分で選んで、カッコいい

いつもそうだが、きみのやってることをみていると.....
嫌なこと、めんどくさいこと、苦しいことから逃げようとばかりしてる。
楽な道ばかり選びたがっている。
ちょうど、水が低いとこ低いとこと流れていくように。

それじゃいけないんだ。
気がついてみたら、どん底まで落ちてたなんてことになる。
人生とは、重い荷物をもって坂道をのぼるようなもの...といった人がいる。
人生にはいつも向かい風が吹いている...といった人もいる。
「かん難汝を玉にす」ということばを知ってるか。
苦しみ悩んでこそ、りっぱな人間になれるという意味だ。
「われに七難八苦をあたえたまえ」と、月に祈った人を知っているか。

山中鹿之助というサムライだ。
自分をうんと辛いめにあわせてくださいと祈ったのだ。
「憂きことのなほこの上につもれかし限りある身の力ためさん」という歌を知ってるか。

悩みごとよやってこい。
自分の力には限りがあるが、精一杯がんばるぞ！という意味だ。

昔の人たちは、こうして強くたくましい自分を育てあげた。
きみも男ならやってみる！逃げたりしないで。
辛いこと苦しいことに、ドンとぶつかっていけ！

参考：「わが息子へ」のび助

のび助さんは、普段は少し頼りなく見えることもありますが、実は心に響く名言をたくさん残している人物です。

中でも「わが息子へ」というお話は、とても印象的です。のび太くんのことを本当に大切に想っていることが、言葉の端々から伝わってきます。

ちなみに、ドラえもんも、のび太くんに対してこんな言葉をかけていました。

**「きみはかんちがいしてるんだ。
道をえらぶということは、かならずしも
歩きやすい安全な道をえらぶってこと
じゃないんだぞ！」**

皆さんの目の前には常に“2つの道”があります。
「どちらが楽か」で選ぶのか、
「どちらが成長できそうか」で選ぶのか、
選ぶのは、いつだって自分自身です。未来の自分をつくるのは、「今の自分の選択」にほかなりません。

未来のことは誰にもわかりません。だからこそ、“少し大変そうだけど、挑戦してみたい”という気持ちに正直になれる人には、きっとその先にレッドカーペットならぬ「SOLANブルーカーペット」が続いているのではないのでしょうか。中学生として歩み出した7年生のみなさんの挑戦は、まさにその“選び続ける力”を育てる毎日なのだと思います！！

We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Advance

1年生を迎える会のようす



We will value "Purpose" and "Ownership" for you

Advance

文化体育



図書学習



#委員会、始動



執行部

広報放送



部活健康



マナー



自然美化



We will value "Purpose" and "Ownership" for you